



北本 森岡 西野 岡田 庄司 松本 森下

新風会

代表質問者 北本周作

新年度予算と
新クリーンセンター
について

質問 新年度予算編成の最重要施策とは。

答弁 市税や地方交付税などの一般財源が大幅に減少し、財源不足が恒常化している中、財政健全化に向け、行財政改革に取り組み、予算規模の圧縮を図った。新年度は第四次総合計画中期のスタートの年度となり、しあわせ大國つやまの実現のため、中期実施計画に採択した事務事業を最大限尊重して予算化し、耐震化のための小中学校大規模改造や景気対策など時代の要請に応じた緊急性の高い予算計上に配慮している。

質問 領家地区クリーンセンター周辺の「環境都市津山モデル地区」とは。

答弁 新クリーンセンターはまちづくりの拠点施設、循環型社会のモデル施設として位置付け、地元を中心とし、中北下、宮尾、久米川南の各地区を「緑あふれる環境都市津山・久米モデル地区」として整備を図り人材育成、環境教育

地域活動の支援を行う。また、バイオマス関連、農業団体、研究機関との産学官連携を進め、産業創出、企業誘致に取り組み。グランデザインでは、地域との連携、快適な生活環境の整備、環境関連産業の創出を大きな柱とし平成二十一年において基本計画の策定を行いたい。

質問 予算は削るべきものを削り、浮いた財源を伸ばすべきものに充てるといった積極的姿勢が必要では。

答弁 メリハリのある予算編成によって、限られた財源の效果的、重点的な配分に努める考え方と、共通の認識であるものと理解している。新年度予算では、緊急の課題である景気対策を主眼として、耐震化のための小中学校大規模改造事業など公共事業を大幅に増額、国の政策と連携した雇用対策予算の計上についても特に配慮した。

質問 合併協議会とはどのような趣旨の会なのか。協議会で決定した

事は議会で決定した事と同等の効力があるのか。

答弁 合併協議会は合併しようとする市町村が、合併に関する協議と市町村建設計画の作成等の事務を担当し、協議したものは、合併協定書にまとめられている。協定書の効力は、町名、議会議員の定数・任期、地域審議会の設置や地方税の取り扱い等は、当然履行していくべきもの。合併協議会の事務の一つである市町村建設計画だが、これは尊重すべきものと承知しているが、事業実施を約束したものは、ない。

質問 横山の最終処分場、小桁の焼却施設使用後の対応は。

答弁 関係町内会や廃棄物処理場対策協議会の皆様方の長い間のご理解とご協力に心からお礼を申し上げます。施設の使用後は、行政として誠意を持ち、地元と行政の意思疎通を図り、廃棄物処理場対策協議会の皆様方、地元の意見や専門家の意見を尊重しながら対応していく。